

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2021/11/30

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.71	0.07
JPY/THB	0.2968	-0.0002
USD/JPY	113.53	0.15
EUR/THB	38.05	0.14
EUR/USD	1.1291	-0.0026
USD/CNH	6.387	-0.011
SGD/THB	24.62	0.11
AUD/THB	24.07	0.12
USD/INR	75.09	0.22
USD Index	96.34	0.25

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.220	-0.009
10Y (THB)	1.905	-0.020
5Y (USD)	1.150	-0.010
10Y (USD)	1.499	0.026

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,782.3	-3.2
WTI (Oil)	69.95	1.8
Copper	9,577.5	117.5

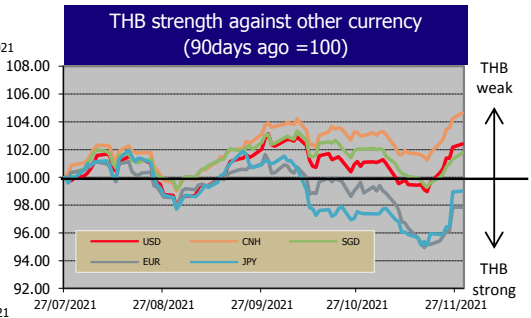
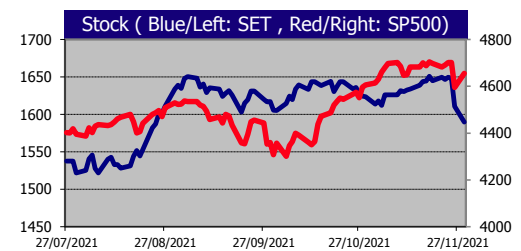
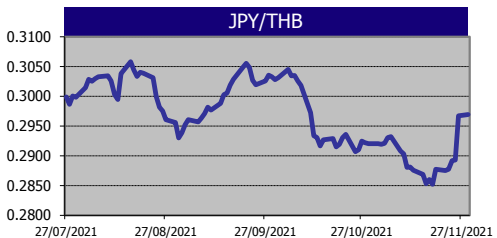
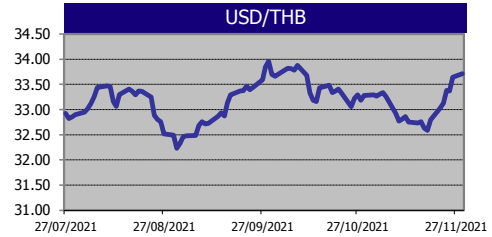
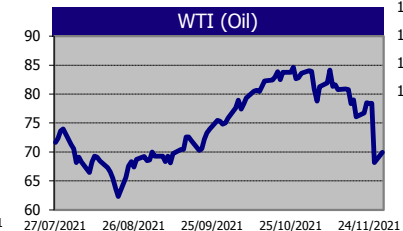
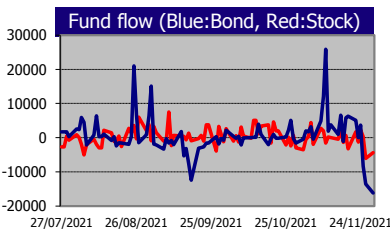
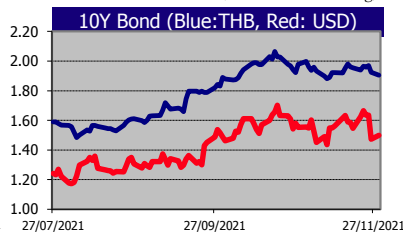
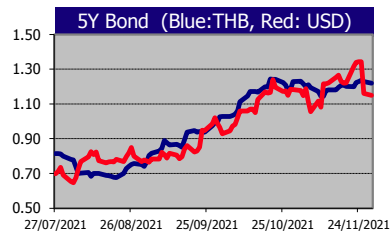
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,589.69	-20.92
NIKKEI (JP)	28,283.92	-467.70
DOW (US)	35,135.94	236.60
S&P500 (US)	4,655.27	60.65
SHCOMP (CN)	3,562.70	-1.39
DAX(GER)	15,280.86	23.82

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(4,370)	1720.9
Bond net flow	(16,229)	-2628.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・ドルパーツは上昇後に反落。バンコク時間は33.70近辺でオープン。オミクロン株への警戒感が強まる中、開国中のタイが再び国境を閉鎖する可能性も意識され、ドルパーツは上昇基調でスタート。一時は先週金曜日の高値を上回り33.80近辺まで上昇するが、海外時間に入ると過度な警戒感が後退。欧米株式市場が底堅く推移する中でドルパーツも上昇一服し、結局33.70近辺でクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下に行き来いの展開。東京時間は113.75円近辺でオープン。序盤はオミクロン株への警戒ムードが和らぎ、日経平均も反発を見せたが、岸田総理が外国人の新規入国を禁止する意向を示したことで、日本経済の失速懸念から反落。ドル円も一時113円を割込んだ。その後、欧米株式市場が上昇を見せる中でドル円も上昇を見せるが、FRBのテーパリングの加速観測が後退する中でドル円は上値重く推移し、結局113.55円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

今週はコロナの新種株となるオミクロン株の動向に左右される週となると思いますが、感謝祭明けの月曜日クローズ時点においては、過度な警戒感が落ち着いた印象です。日本は外国人の入国を1ヶ月程停止するとの発表を行い日本株は大きく下落しましたが、米国はロックダウンの必要性に否定的な意見を示し、オミクロン株は感染力が強いものの、重症リスクは低いとの専門家見解も見られていることから、グローバルリスクセンチメントも金曜日と比べると改善傾向にあるように感じます。ドルパーツのプライスアクションとしては、タイの国境閉鎖リスクを懸念してか、パーツ安に振れた後の戻りが鈍い印象で、33.70近辺での高値推移が続いております。とはいえ、オミクロン株の登場により、米国のテーパリング加速への思惑が後退する中で、ドルパーツの高値推移をキープするのは厳しい印象もあり、本日の月末実需フローをこなした後はパーツ安が後退するシナリオを意識しておきたいところです。タイの街中では、国内のワクチン接種率の高まりを受けて、活気が戻っている印象は強く、12月16日から更なる緩和措置が発表されれば、一段と経済が活気づいていくように思われます。来年度の予算案が決定する時期が近づいてきましたが、タイ経済の本格的な回復が見えてきた場合にはパーツ高が加速する可能性があり、輸出サイドのお客さまについては、相応にヘッジを積みましておくことをお勧めしたいところです。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.